

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 染矢つや子

山名	比良山系	山行名	2月例会		
ルート	坊村 ~ 御殿山 ピストン				
山行日	2月22日(日)	天候	曇り		
参加者	リーダー：鈴木 男性：中島・佐坂・中田 女性：岡本・上田 合計：7名	サブリーダー：染矢 運転：鈴木・佐坂 記録：上田 会計：岡本			
ルート概略図 N ↑ 坊村 P846 御殿 武奈ヶ	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
坊村	集	8:20	小休止	着	14:25
	発	8:45		発	14:35
アイゼン 装着	着	9:10	坊村	着	15:25
	発	9:20		発	
小休止	着	10:30		着	
	発	10:40		発	
御殿山 (昼食)	着	11:45		着	
	発	12:15		発	
ビーコン 練習	着	12:30		着	
	発	13:30		発	
<p>上賀茂診療所所長 鈴木さん遭難の情報メールが頻繁に入る。役員・救助隊長・労山部に転送。田辺山友会の鈴木さんから「伊吹に行っている場合じゃないよ、皆がOKなら武奈に変更したらどうか？」の話を受けた。急な変更に皆さん快く承諾して下さった。CLは雪山経験豊富な鈴木さんをお願いした。2月2日「甘南備山」で中島・佐坂・岡本さんの4人でビーコン・プローブ棒の練習をしたので今回の雪山山行は良い機会だと捉え会の装備を持参する。出発前に初体験の中田さん、上田さんにビーコンを装着してもらおう。岡本さんは一か月前に練習したばかりなので慣れた手つき。個人持ちは中島さん、佐坂さんは今回ネットで購入されました。登山口からしばらくは雪がなくぬかるんだ急坂を登る。徐々に積雪が多くなる。CLから「トレースのあるところばかり歩かないで踏み跡のない所をどんどん歩いて」と声がかかる。指示通り大回りしたり急斜面をグイグイと登る。途中強風で雪山の寒さも少し体感、御殿山山頂着。雪化粧の西南陵が綺麗だ、残念ながら頂上は見えない。風のないところで昼とする。ここから少し下り広い尾根でワカン歩行練習も兼ねビーコン操作の練習をした。踏み跡のない所を右へ左へ下にと動き回り埋めたビーコンを探し当てる。電波が四方に奔り場所特定に時間を要した。プローブ棒では掘りにくくスコップを持参しなかった事を後悔。「百聞は一見にしかず」初体験者も学習出来たようだ。1時間経過したので下山を始める。気温も上がり雪がゆるみワカンをはいていても注意しないと深く入り込んでしまう。途中休憩しているとパトロール隊が下りてこられた。「武奈頂上は風が強くすぐ下山して来ました」と話されました。遭難した人を探すのはかなりの体力が必要、雪山は天候で豹変する。行かない選択も大事！</p>					
ヒヤリハット なし					

## 冬の比良登山に参加して

中田 繁男

先月の樹氷の素晴らしい明神平の冬山に続いて参加を決めました。急きょ行方不明者が出ている武奈ヶ岳に変更し緊張して2台の車で坊村の登山口へいきました。天候、降水量は高めでしたが現地まで道路には積雪がなく無事到着した。駐車場には我々と同じ情報提供を依頼されている登山者の車が停まっています。SL染矢さんから今日はこれを着けて行きますとって「ビーコン」を手渡されました。ビーコン装着、ゾンデ棒を携帯して出発です。登山口では女性の方々が行方不明になっている男性医師のチラシを配っておられ身につまされました。ひとつ間違えるとわが身かも知れない。。。8時45分出発してCL鈴木さんが先頭でどンドン雪の山道を進んでいきます。いつも「先頭早い早い」と注意されているのに今日はやけに早い、Nさんが雪道でやや遅れぎみですが全員が順調に急坂を登っていきます。労山からの情報提供が必要との事で佐坂さんと染矢さんがややルートを外れて大回りで雪中を散策している。私は体力的について行くのが精いっぱいで見ているだけ。時折、吹く山風が心地よく疲れを忘れさせてくれました。途中からのアイゼン着けての登りも先月に経験して慣れていたのよかったです。時折体に装着したビーコンを見ると赤い点滅が見えて守られているような安心感がありますね。山頂近くには2m位の積雪でアイゼンでは歩きが困難になって、全員が持参したワカン装着して登った。私は初めての体験でしたが幼いころの富山での経験が甦りなんとか歩けました。

御殿山に到着。冷たい風が10m位吹き積雪も多く目の前には山頂にガスがかかった「武奈ヶ岳」が見えます。今日は残念ながらここで引き返すことになった。しばらく下りはじめてCL鈴木さんがビーコンの実地訓練をしたいと思います。



一台を密かに雪の中に埋めて全員でビーコン操作、雪の中をウロウロ歩きまわり約30,40分位かかって発見出来た。難しい!!!助けられない!その後の急坂付近で先頭がアイゼン着けていたのに足を滑らし尻もちをついて滑ってしまいました。私も慎重に下りたのですが無理!滑って下りた方が早いので振り返ると全員が滑り出していました。後ろから地元の警備隊メンバーが力強く下山。ご苦労様!我々も無事に下山出来た。行方不明者の情報提供は出来なかったですが「ビーコン・ワカン」の初体験が出来て、楽しい一日を過ごせました。



**2月22日 私64歳の誕生日**

ありがとうございました